

(様式第 7 号)

### 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 4 年 6 月 30 日

作成者： 阪田 昌三

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

|   |                                |
|---|--------------------------------|
| 団体名   |                                |
| 特定非営利活動法人キャンピズ  |                                |
| 事業名   | 日時 (期間), 場所                    |
| 就労支援事業における見学・相談の機会  | 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 |
| 内容 (実績) *実施したことを具体的に  | 受益者数                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・芦屋市内・外在住で障害のある方への就労支援事業についての見学・相談会をウィズ芦屋で実施した。</li><li>・基幹相談支援センター、地域生活支援センター、就労支援事業所、特定相談支援事業所、訪問看護、デイケア等関係機関へ事業所のパンフレット及び見学・相談会のチラシを配布。</li><li>・芦屋特別支援学校の高等部 2.3 年生の実習及び見学の場。</li><li>・当事者だけでなく事業所の指定を考えている団体からの相談 (他市)</li><li>・放課後デイサービスの事業所との情報共有 (芦屋市内)</li></ul> | ( 15 ) 人                       |
|   | 参加者数                           |
|   | ( 15 ) 人                       |
| 成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に  |                                |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・事業所へ見学・体験し利用することとなった。</li><li>・行政へ行くにくい方など保護者や当事者の方に就労支援の仕組みや制度のことなど分かりやすく説明することができた。</li></ul>  |                                |
| 今後の展望 (どのように継続、発展するか)   |                                |
| <p>・地域における働きたいけど働けない、病気や障害のことで一步踏み出せない方への一つのきっかけとしてアプローチしていきたい。障害だけに枠組みを限定するのではなく他の地域課題と共有する中で誰もが暮らしやすくなる地域づくりを目指したい。次年度も引き続き、自立支援協議会の実務者会で、地域と障がいのある方とのつながりを持てるように地域に根差した事業所が目指せるように進めていきたい。</p>   |                                |